



熱処理のロータリーキルン

熱制御技術を起点に 環境装置づくりへ

株式会社島川製作所

大阪
21

ISO 14001

<http://www.shimakawa.co.jp/>

Company Profile

株式会社島川製作所

住 所／〒573-0128
枚方市津田山手2-9-3
創 業／昭和30年5月
設 立／昭和56年9月
資本金／1,000万円
従業員／20名
T E L／072-808-3055
F A X／072-808-3057

■主な事業内容

産業用機械設備の製造・販売、酸化エチレンガスの処理装置・触媒燃焼脱臭装置・工業用乾燥機などの製造・販売

■主な取引先

電気機器製造会社、化学製品会社、医療機器製造会社 等



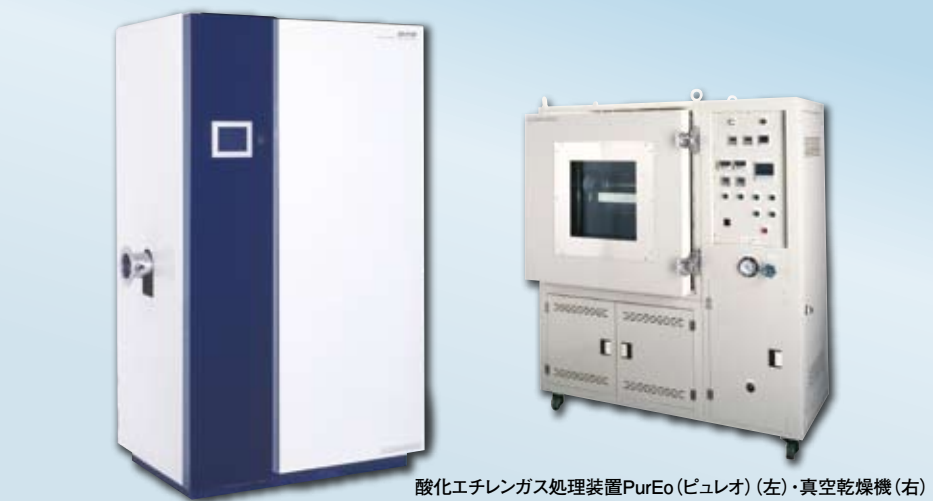
当社のセールスポイント

お客様本意の
開発姿勢をずっと
守り続けます。



代表取締役社長 業務部長
島川 憲三さん 島川 烈さん

事業のコアとなる研究開発については「お客様のニーズがあってこそこの開発」という設立当初からのスタンスは変わりません。これからもお客様からヒントをいただき、それに真摯に取り組むことで技術とノウハウを磨いて省資源化、高効率化につながる製品づくりを目指してまいります。



酸化エチレンガス処理装置PurEo（ピュレオ）（左）・真空乾燥機（右）

コア技術は熱と風の「コントロール」

創業以来、長年にわたって企業や大学などの研究機関に向けて環境試験装置や乾燥機を設計製作してきた島川製作所。転機が訪れたのは約20年前のこと。取引先企業から特殊乾燥機のテスト機を受注。改造、改良を繰り返す中で、大型の生産ラインを製作するようになったことを契機に、扱う製品が次第に大型装置へと移り変わっていった。

同社が得意とするのは、熱と風をコントロールする技術。高温、真空、防爆、無酸化雰囲気、特殊機器内蔵等、顧客の高度な要望を満たすオーダーメイド装置を設計から引渡しまで一貫して行うことができる熱処理装置メーカーとして顧客の信頼も厚い。近年は装置単品だけではなく、搬送部分や他社機器も組み合わせたプラントの受注も少なくない。販売については、創業当初は、商社からの引き合いがメインであったが、現在では大半が直販であり、自社の営業が直接、顧客の要望をヒヤリ

ングし、設計・製造に反映している。

現在、同社の営業実績の半分を占めるのは熱処理炉。近年になって需要が拡大している二次電池の生産ラインでも活躍中だ。不況下にあっても成長が続く花形産業を同社の製品が下支えしているのだ。

業界トップの性能を誇る 酸化エチレンガス処理装置 「ピュレオ」

環境への関心が今ほど高くなかった平成2年当時、同社は協力先から委譲された技術をもとに、有害ガスを触媒により低温で酸化燃焼させ無毒化する触媒燃焼方式の脱臭装置の販売をスタート。その後、開発を進め、独自の燃焼方式、制御フロー、特許技術を次々と開発していった。

また、平成5年には触媒脱臭装置の技術ノウハウを活かし酸化エチレンガス処理装置「PurEo」を発売。酸化エチレンガスを1度水に吸収させるという独自の特許技術を有する上、燃焼性能、ランニングコストについ

ても業界トップクラスの性能を誇る。

酸化エチレンガスは、強い毒性、発がん性、爆発危険を持つガスであり、大阪府でも排出を抑制する為の条例が制定されている。しかし、医療用等の滅菌装置で滅菌用に使われた後、大半がそのまま大気中又は排水に排出されているのが現状である。「PurEo」は、これまでそのまま排出されていた酸化エチレンガスを無毒化してから大気放出するのだ。

業務部長であり、同社の将来を担う島川烈さんは「当社の製品は、二つがノウハウの固まりなのですが、これがシマカワだ！という柱はまだ少ない。その意味で『PurEo』は柱になり得る。他社に負けない独自製品をもっと増やしていきたいですね」と語る。次の時代を見据える目には、自社製品と技術力への確かな自信が垣間見えた。



触媒燃焼脱臭装置